

【当麻町】森林環境譲与税の使途（令和5年度：決算）

事業区分	事業名	事業総額（千円）			当年度基金への積立額（千円）	事業内容	税導入の効果（実績）
		(A)+(B)	うち令和5年度の森林環境譲与税（千円）（A）	うち他の財源（千円）（B）			
意向調査、集積計画等作成	森林経営管理意向調査委託料	1,650	1,650	0		意向調査対象の整理及び意向調査票の作成と発送（34件）調査結果の集計、分析、報告書作成。	<p>【ワンフーズ】</p> <p>R2年度までに意向調査の準備作業を行い、R3年度より実際に意向調査を開始している。また、R3年度から民有林等の整備に対する補助事業を開始し、森林整備を更に促進している。R4年度より、プロジェクト認証に対する補助事業を開始し、建て主と建築事業者の意識向上を図ると共に認証を受けた木造住宅の建設を促進している。R5年度は鍾乳洞グリーンパークの施設管理及び整備、町森林組合に対するスマート林業用機器の購入補助、町がスマート林業用に購入するドローンの費用とドローン用計測サービス等の各種使用料に対して譲与税を用い、木育とスマート林業の推進を促進している。</p> <p>【詳細】</p> <p>本町の森林面積は13,391.35haで行政区域面積の約65%を占めており、そのうち町有林は4,393.13a、町有林を除く一般民有林（私有林）は2,595.06haある。</p> <p>本町では、森林の有する多面的機能の持続的な発展に向けて、これまで国や道の森林整備事業予算や町単独予算などにより森林の整備を進めてきたが、木材価格の低迷による森林所有者の不在村化、相続による世代交代などから整備が行き届かない森林の増加が懸念されている。このため、本町では、国から譲与される森林環境譲与税を有効に活用して、基本方針に基づき、適切な森林の整備やその促進につながる取組を計画的にかつ効果的に進める。</p> <p>※本年度の譲与税で不足した額は、森林整備等（意向調査・補助事業含む）に使用するための基金からの取り崩しにより民有林等指導整備促進事業補助に対して充当。</p>
その他（人材育成等）	北海道林業・木材産業人材育成支援協議会賛助金	30	30	0		次代を担う人材の育成を図るため、令和2年度より開校した「北の森づくり専門学院」を支援する、「北海道林業・木材産業人材育成支援協議会」に対して賛助金を支出。	
意向調査、集積計画等作成	森林統合クラウドシステム回線使用料	82	82	0		森林統合クラウドシステムをLG回線環境において使用する為の使用料。	
その他（木材・普及啓発関係）	プロジェクト認証補助金	171	171	0		森林認証を受けた木材で建てられる戸建て住宅について、プロジェクトCoC認証を受けるため、その認証審査費用の1/2を補助する。	
私有林整備	私有林等整備促進事業補助金	6,302	6,191	111	111	<p>民有林等の整備を促進するため、人工林の保育、作業道整備、経営指導等に対して補助をした。</p> <p>【補助率】</p> <p>根踏・下刈：10,000円/ha（上乘せ）</p> <p>除伐・保育間伐・間伐・枝打ち：20,000円/ha（上乘せ）</p> <p>森林作業道整備：3/4（1,500千円）</p> <p>作業道整備（災害対応）（2,058千円）</p> <p>私有林指導：1/2（1,700千円）</p>	
その他（人材育成等）	スマート林業推進事業補助金	574	574	0		森林組合が購入するGPS機器（付属品及び既存システムの改修費含む）とドローン（端末、付属品、初期セットアップ費用等含む）の購入に対する経費の補助（50%）	
その他（木材・普及啓発関係）	鍾乳洞グリーンパーク管理事業	1,200	1,200	0		木育推進の場となる鍾乳洞グリーンパークの草刈りを始めとした施設の管理及び施設整備を行う	
その他（人材育成等）	林業事務経費	1,088	1,088	0		町のドローン購入費用、登録手数料、損害保険料、ドローン計測サービス（クラウド型SfM画像処理システム）使用料	
合計		11,097	10,986	111	-111		